

三国時代開幕1800周年記念シンポジウム

三国志 ワールドの展開

中国から日本へ、過去から現代へ

2020年3月7日(土)10:00~16:30 [開場9:30]

二松学舎大学 九段キャンパス1号館

中洲記念講堂

東京都千代田区三番町6-16 [九段下駅下車2番出口徒歩8分
市ヶ谷・飯田橋駅下車徒歩15分]

開会の辞▶10:00

江藤茂博 [二松学舎大学学長]

趣旨説明

伊藤晋太郎 [二松学舎大学教授]

基調講演▶10:20

日本における「三国志」物語の受容：横山光輝『三国志』を中心として

渡邊義浩 [早稲田大学教授]

第I部 近代以前における「三国志」文化の伝播と受容▶11:30~13:00

建安という時代：

曹操父子の文学とその後世における影響

牧角悦子 [二松学舎大学教授]

関羽の視覚的特徴の形成

伊藤晋太郎 [二松学舎大学教授]

江戸時代における「三国志」文化の受容

長尾直茂 [上智大学教授]

第II部 近現代における「三国志」コンテンツの展開▶14:00~15:30

現代中国における観光資源としての「三国志」

上永哲矢 [紀行作家/歴史ライター]

偉人化する孔明：明治以降の日本におけるイメージ

箱崎みどり [ニッポン放送アナウンサー]

メディアミックス的なネットワークのなかの曹操：

私たちはゲームをつうじて何を体験するのか

松本健太郎 [二松学舎大学教授]

第III部 総合討論▶15:45~16:25

閉会の辞▶16:25

山口直孝 [二松学舎大学東アジア学術総合研究所長]

新型コロナウイルス感染症拡大の
影響により、開催中止とさせていた
だきます。

入場無料
事前申込不要

コンテンツとしての「三国志」が中国と日本、近代以前と近現代においてどのように展開し、流通し、受容されているか。

【お問い合わせ】 二松学舎大学 東アジア学術総合研究所 TEL.03-3261-3535

【主催】 二松学舎大学東アジア学術総合研究所